

メロングリソディン

媒体名	健康産業新聞	掲載日	2014年6月25日
タイトル	インタビュー ISOCELL 代表取締役 フランソワ ヴィックス氏		

インタビュー

ISOCELL代表取締役社長

フランソワ ヴィックス 氏

(株)ニュートリション・アクト(東京都港区、☎03-5475-7313)では、フランスのバイオ企業であるISOCELL社製「メロングリソディン」を供給。抗酸化能が高く、メディカルフードとして定評があり、世界40カ国以上で採用されている。来日した代表取締役社長のフランソワ ヴィックス氏に話を聞いた。



— 「メロングリソディン」のグローバルマーケットの状況について。

抗加齢、皮膚科、美容整形など医療機関用のメディカルフードとして浸透しており、欧州や米国でも医師、コメディカルスタッフへの提案を強化している。中国の保健食品の登録や、インドとの契約、ブラジルが検討中であるなど、今後のさらなる拡大のポテンシャルは高い状況にある。

— 日本市場について。

日本は、消費者のナチュラル志向が高く、高齢化にあって栄養・機能性に対する意識や健康長寿に対する意識も高い。購買力も旺盛でボリュームがあるなど、抗酸化を訴求する『メロングリソディン』の条件に合致する国として重要な市場。但し、問題点としては、効果・効能など情報のコミュニケーションが表示で伝えられない点がある。このため、エビデンスに対する理解力の高い医療機関向けの可能性については常にフォローしていきたい。なお、同じアジア圏内のインドネシアでは、現地パートナーの製薬トップメーカーが、医師向けに強力なプロモーションを行い、医師の処方に基づく販売アプローチが功を奏している。

— 今後の見通しや計画などについて。

乳製品やビスケット、飲料といった食

品向けの製剤化開発を視野に入れている。SODを安定した形で保存し、機能性を確保するためのハードルが高いことと、マーケットに合う価格帯での提供が課題。また、シミや光老化など美容領域を中心としたヒト臨床や、紫外線防御作用の研究なども継続していく。最新情報としては、糖尿病などに伴う酸化ストレスや慢性炎症に関わる分野もターゲットにメカニズムの解明を進めている。

『メロングリソディン』とは

『メロングリソディン』は、南フランス・アヴィニョン地方で栽培されている、ヴォークルシアン種を特別に品種改良したメロンから抽出した抗酸化酵素(SOD)を、小麦抽出物であるグリリアディンでコーティングした素材。細胞内のSOD、グルタチオンペルオキシダーゼ、カタラーゼといった抗酸化酵素を誘導し、体内の抗酸化能を相対的に高める作用を持つ。機能性研究・報告は多岐にわたり、酸化ストレスの軽減や、抗疲労、免疫活性、肌の抗炎症などが確認されている。中でも、エイジングケアに不可欠な要素として細胞のDNAを保護する点は、次世代型の抗酸化素材として医療分野の各専門家から高い評価を受けている。